



2024年5月8日（水）

（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
宿泊課宿泊企画グループ（発表資料に関すること）

担当：米山、平川

電話：052-746-9463（直通）

広報メディア課広報グループ（その他大会に関すること）

担当：金井塚、加藤

電話：052-951-2026（代表）

ウェブサイト：<https://www.aichi-nagoya2026.org/>

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）における 選手団宿泊施設としてのクルーズ船の活用について

（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）は、選手村の施設整備を行わず、ホテル等の既存施設を活用して選手団の宿泊を確保することとしております。

その中で、相当規模の宿泊拠点となる既存施設としてのクルーズ船の活用について、下記のとおり検討、調整を進めてまいります。

記

1 検討内容

クルーズ船を「ホテルシップ」※とし、選手団の宿泊施設として活用すること

※ 船舶を一定期間港湾に停泊させて宿泊施設として使用すること

（1）クルーズ船の規模等

- ・ 3,000 人程度が収容可能な船舶を想定

※ 使用する船舶や使用条件（使用期間や使用料）等は検討中

（2）停泊場所等

- ・ 停泊場所：名古屋港 金城ふ頭
- ・ 停泊期間：20日間程度（想定）

※ 具体的な条件（停泊位置、経費等）については関係機関等と調整中

2 選手団宿泊施設の状況（現時点における想定）

名古屋市内 + ホテルシップ	約 10 施設
愛知県内（名古屋市以外）	約 30 施設
県外	約 10 施設
計	約 50 施設

※ 宿泊施設の集約や今後の施設側との契約交渉の状況等により、施設数は変動する。

※ 競技会場との位置関係や利便性を考慮して選手団宿泊施設を割り当てる。

<参考> 過去の国際スポーツ大会におけるクルーズ船の活用例

第 30 回ユニバーシアード競技大会（2019／ナポリ）

- ・ コスタ ビクトリア(コスタ クルーズ社)、MSC リリカ(MSC クルーズ社)の 2 船をナポリ港に停泊させ、4,000 人を超える選手団が 2 週間滞在。



第 30 回 ユニバーシアード競技大会（2019/ナポリ）で活用されたクルーズ船

- ※ ユニバーシアード競技大会は、国際大学スポーツ連盟（FISU）が主催する学生を対象にした国際総合競技大会で、2 年ごとに開催される。2021 年夏季大会(中国・成都)から「FISU ワールドユニバーシティゲームズ」と改称。